

2012年8月1日以降に当院で胆膵内視鏡治療を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：ERCP 後膵炎のリスクファクターの探求

研究期間：2020年3月30日～2022年3月31日

研究責任者：市立甲府病院 消化器内科 科長 門倉 信

市立甲府病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

ERCP 後膵炎の危険因子として数々の因子の報告がなされていますが、近年無症候性胆管結石患者は症候性胆管結石患者に比してハイリスクとの報告がなされました。網羅的に ERCP 後膵炎のリスクファクターを探索することで、個別化されより安全な内視鏡治療を提供できるようにすることを目的とします。

【研究の方法について】

診療録から性別・年齢、治療内容と経過について抽出し、ERCP 後膵炎の因子を探求し、その精度の比較検討を行います。

【利用する試料・情報について】

〈対象となる患者さん〉

市立甲府病院に入院歴のある患者さんで、2012年8月1日以降に ERCP（胆膵領域の内視鏡治療）を受けた方

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ（血液データ）

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より抽出しますので、改めて患者さんに受診を頂く必要はありません。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、市立甲府病院 消化器内科で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について当院倫理委員会に

申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、電話又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

市立甲府病院 消化器内科

科長 門倉 信

TEL : 055-244-1111

FAX : 055-220-2650